

学校番号	学 校 名
5 2	中津高等学校

令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校教育目標	<p>知・情・意の調和のとれた、人間性豊かな、たくましい生徒を育成する。 育てたい生徒像 (1) 創造力と協働力を身に付け、敬愛心をもって、将来グローバルに活躍できる生徒 (2) 自己を理解する力を身に付け、自らすべきことを考え決断し、自分を律しながら行動できる生徒 (3) 幅広く質の高い教養を身に付け、ものごとを深く探究し、自分の考えを発信できる生徒</p>		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP)	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP)	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP)
	<ul style="list-style-type: none"> 創造力と協働力を身に付け、敬愛心をもって将来グローバルに活躍できる生徒 自己を理解する力を身に付け、自らすべきことを考え決断し、自分を律しながら行動できる生徒 幅広く質の高い教養を身に付け、ものごとを深く探究し、自分の考えを発信できる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら考え、論理的に自分の考えを発信できるよう、主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業の推進 一人ひとりの学びを深め、自己実現につながるためのカリキュラム編成と、個に応じたキャリア支援の実施 地域や世界の抱える課題を考察・解決し、仲間と協力して新たなものを創造する力を育成する探究的な学びの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い好奇心をもち、自分の考えを発信したり他者の意見に耳を傾けたりしながら、多様な学びに対し前向きに取り組もうとする生徒 自らの可能性を信じ、主体的に自分の進むべき道を見付け、それに向かって継続的に努力しようとする生徒 地域活動やボランティア活動、学校行事、部活動に意欲的に参加し、他者と協働して物事を成し遂げようとする生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 授業改善に努め、意欲的に取り組む態度を育て、確かな学力を育成します。また、開かれた学校づくりを推進します。	<p>① 生徒の興味・関心を喚起し、意欲的に学習に取り組む主体的な態度を育成するため、徹底した教材研究とICT・タブレットを活用した教材開発を基に授業を行います。</p> <p>② 探究学習、教科横断的学習を取り入れる等授業改善に努めます。</p> <p>③ 各教科・科目の基礎・基本が確実に身に付く「分かる授業」を行います。その上で個々の能力を最大限に引き出す発展的な内容を扱う授業を行います。</p> <p>④ シラバスを作成し観点別評価を実施することで、生徒の学習改善や教員の指導改善を図ります。</p> <p>⑤ 開かれた学校づくりに努め、積極的に授業公開・行事公開を進めます。</p>		<p>❶ 生徒アンケート調査及び保護者アンケート調査におけるA、B評価の合計が、75%以上を達成したか。</p> <p>❷ 生徒による授業評価を実施し満足度、コメントにより評価する。</p> <p>❸ 授業公開、行事公開時の見学者数。</p>

<p>2 意欲的、自律的に学校生活を過ごさせ、それを通して常識ある社会人を育てます。</p>	<p>① 個性を尊重し、「意欲的な学校生活」を目指す生徒支援を推進します。</p> <p>② 学習と部活動の両立を図り、自律的で節度のある生活態度を育成します。</p> <p>③ 地域課題を知るとともにその解決を探究する姿勢を育て、地域貢献活動やボランティア活動の充実を推進します。</p> <p>④ 時間や場所にふさわしい身なり、行動がとれるよう継続的にマナー指導をします。</p>	<p>① 生徒アンケート調査及び保護者アンケート調査における A、B 評価の合計が、75% 以上を達成したか。</p> <p>② 学校運営協議会、学校関係者評価委員会による評価。特別活動、地域貢献活動への参加。参加率。</p>
<p>3 望ましい勤労観・職業観の育成と主体的な進路選択を可能にする支援をします。</p>	<p>① 一人一人が自己を正しく理解し、生き方を考え、進路選択ができるきめ細かな進路指導をします。</p> <p>② 望ましい勤労観・職業観を育成するとともに、自らが希望する進路が実現できるよう計画的に進路情報を提供し、ガイダンスを実施し、キャリア支援を充実させます。</p>	<p>① 生徒アンケート調査及び保護者アンケート調査における A、B 評価の合計が、85% 以上を達成したか。</p> <p>② 3 年生の学校満足度調査を実施し、進路実現の度合いやその過程での援助に対する満足度により評価する。</p>
<p>4 教職員の勤務環境の改革に関する取組の推進</p>	<p>① 「教職員働き方改革プラン 2023」に基づき、長時間勤務の解消、ハラスメントとメンタル不調等の速やかな察知と解決、及びマネジメント力向上に向けた組織・体制づくりに重点的に取り組みます。</p> <p>② 日常の職務を振り返るために職員会議や研修会等の機会を活用して、学校法規の内容や趣旨をよく理解し職務の遂行に専念するなどコンプライアンスの意識向上に努めます。また、その徹底のために組織で対応することを心がけるなど学校マネジメントに努めます。</p> <p>③ 教職員のキャリア発達やキャリア形成に着目した職能発達に努めます。また好ましい同僚性の促進のために組織の活性化を図ります。</p>	<p>① 超勤時間削減、早期退勤日徹底、業務内容見直し、部活動休養日実施、外部人材配置等における指標の達成状況を評価します。またハラスメント等に対しては管理職による個人面談やストレスチェックの徹底及び産業医による指導を評価し速やかな改善を図ります。</p> <p>② 生徒及び保護者アンケート調査結果、人事評価表の自己評価欄の記述及び不祥事防止や情報セキュリティ等各種のチェックシートの回答状況を分析し課題の解決を図ります。</p> <p>③ 校内外の研修機会活用を促し成果物を評価します。研修成果の共有・活用状況についても評価します。</p>